

2019年11月5日

林テレンプ株式会社

## 林テレンプが名古屋大学と産学連携 次世代 EV コンセプトカーの内装をデザイン

自動車内装部品の総合メーカーの林テレンプ株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：林 貴夫）は、名古屋大学（名古屋市千種区）と連携し、窒化ガリウム（以下、GaN）を電動化技術に適用した、同大学が開発する次世代 EV コンセプトカー「All GaN Vehicle（オール・ガン・ビークル）」の内装デザインを手がけました。

この車両は、第43回東京モーターショー2019の環境省ブースで公開されました。



この車両は、2014年にノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学未来材料・システム研究所の天野浩教授らの研究グループが、低炭素社会を推進する環境省のプロジェクトの一環で開発したコンセプトカーです。青色LEDにも使用される次世代半導体材料 GaN を用いたインバータ等を搭載した、実走行可能な車として設計されています。※公道は不可

当社は、自動車内装をトータルで設計できるノウハウを活かし、内装デザインを担当。車室内のイルミネーションには GaN の象徴である青色 LED を使い、クリーンで力強いエネルギーの流れを表現したほか、気流や温度を手の動きだけで直感的にコントロールできるモーションセンサーを使ったシステムを組み込むなど、新しい技術を取り入れています。

当社は、2018年春に新エネルギー車向け研究開発会社“NEVHA（ニーヴァ）”を設立するなど、将来の自動車に向けた取り組みを強化しており、今後も環境に配慮した先進的な技術開発に積極的に協力していく考えです。

会社名	林テレンプ株式会社
所在地	名古屋市中区上前津 1-4-5
代表者	代表取締役社長 林 貴夫
資本金	10 億円
従業員数	1,825 人（2019年3月時点）

<問合せ先> 林テレンプ株式会社 経営企画部広報課(担当:河内)

電話:052-322-2135 FAX:052-322-0890



10/24 説明をする天野教授(写真左)と、視察に訪れた小泉環境相(右)と日本自動車工業会の豊田会長(中央)